

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高広ニュース

No. 1121

16.9.27

9月定例会市議会報告(1)

市議会総務委員会は伏虎中学校跡地の大学への無償貸与議案と対4の反対多数で否決しました。日本共産党市議員田中をめぐり反対した5人も議案部誘致にも無償貸与にせよ反対していません。議案審査で明らかになった条例の問題点は次のとおりです。

議案に反対する3つの理由

市長は、医大が薬学部の基本設計に2億円かけることから、その契約前に何らかの形で議決するためにと頭をひねった結果がこの条例だと説明しました。しかし、新しい市民会館

適用すれば、薬学部への無償貸与は中身のものです。それは、市長の覚悟の問題です。条例自体は2019(平成31)年度末に失効するとの期限立法になっています。無償貸与の契約を結めば、後例は不要になることの説明で、当面の契約期間は20年とのこと。無償貸与の期間中に根拠条例をなくすことは問題です(理由①)。

条例自体に3つの問題点

条例は2019(平成31)年度末に失効するとの期限立法になっています。

条例の本旨は、大学設置者に伏虎中学校跡地を無償貸与することになっています。

込むことができないと説明するのです。相手を終り込めない条例を作るのが、医大薬学部誘致と一歩進めるという説明は明らかになり、値上げ(理由③)。

市長、市会ともこの条例で跡地を貸す相手は医大薬学部だと説明しました。しかし条例にはそのことが明記されていないばかりか、「法規の一般性」の観点から、相手方を薬学部に絞り、もったいない(その67)

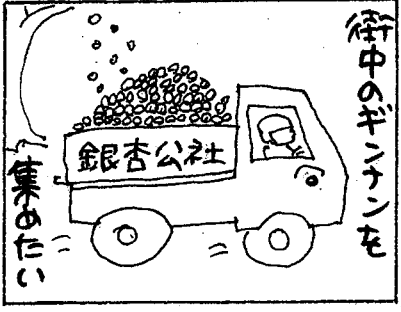
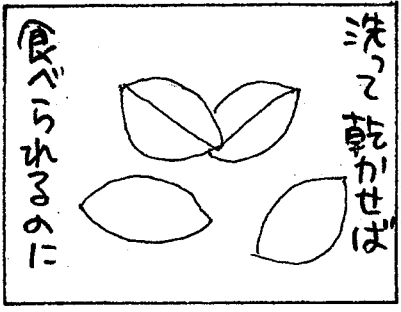
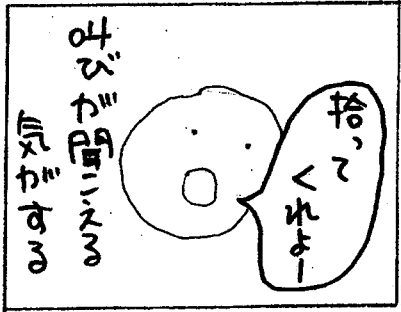
今週のフリーの人々

(その67)

この季節になると、街路樹の銀杏から落ちた銀杏を見るたびに、もったいないと思ってしまう。落ちた銀杏が車にひかれて粉々になって道路が汚れて、この世間を、拾って帰って洗って乾かせば食べられるのにと思ってしまう。ただ思うだけであつても拾うこともなく、落ちた銀杏が変り、銀杏の葉っぱが寒風に舞っている。そんなことを思っ

フリーの人々

(904)



ひめだ高広

高松のEバググリーン

大店法による 説明会に参加

9月26日(月)19時から高松地区会館で、東高松3丁目計画されている(仮称)スーパーEバググリーン高松店の大規模山荘店舗立地法(大店法)に基づく説明会が開かれ、私、ひめだも参加しました。

店舗面積は2200㎡、生鮮4品目(青果・鮮魚・精肉・惣菜)を扱い、営業時間は午前9時と午前10時の2回。

駐車場70台、駐輪場52台で来客が駐車場を利用できるのは、8時30分からの30分。駐車場の出入り口は、国道側と北側の2カ所。北側の荷上げ施設の使用は、午前6時から午後10時。建物にはエレベーター、階段は倉庫との概略説明。

交通、住環境悪化に心配

車は北から入って南へ出るといふ説明に、住民から国道以外の道が狭いこと、付近に小学校や幼稚園、病院や医院があり、迂回や抜け道の車による渋滞や事故

などの交通悪化と隣接民家が建ち、早朝から深夜に及び営業による住環境の悪化を心配する声が続出。回答は後日2時過ぎに教へた。

日本共産党

安倍暴走政治に正面对決

9月26日、臨時国会が召集され、日本共産党国会議員団総会で志位和夫委員長は、「あらゆる分野で安倍暴走政治とのたたかいが重大局面を迎え

ます。暴走政治と正面から対決し、政治のチキンジゴを求め、論陣を張っていきなさい」と表明。安保法制に戦争法、「アベノミクス」、環太平洋連携協定(TPP)の原形、沖縄、憲法改定の各分野で暴走の矛盾や破たんが深刻となり、日本共産党が掲げる抜本的な対策で転換をはかろうと訴えま

した。野党の役割として志位委員長は、「反対するなから対案を出せ」と言う安倍首相に対し、「わが党はこの分野でも国民の立場にたった抜本的対策を明らかにしています。間違った政治に正面から反対すること自体が野党の大事な仕事です」と強調。

潮流

16. 9. 24日刊 補 | 兆田を超える事業費を投じたすえに、廃炉へ動き出した高速度増殖炉「もんじゅ」。

これまで野放図に継続したのも、同炉が日本の原子力政策の本命として位置づけられてきたためです。▼その国産化が目標に掲げられたのは60年前のこと。国の原子力長期計画に「原子燃料資源の有効利用の面から見て、増殖型動力炉が、わが国の国情に最も適合する」と考えられる」と明記された。▼高速度増殖炉の実用化の目標は当初1980年代後半とされましたが、95年のナトリウム漏れ・火災事故をはじめ事故やトラブルでほとんど運転していません。安倍政権の「エネルギー基本計画」では、ついに「高速度増殖炉」の言葉さえ消えました。▼核燃料サイクルは、原発の使用済み核燃料からウランとプルトニウムを取り出して再利用します。炉内で消費するプルトニウムより多くのプルトニウムを生かす高速度増殖炉は、サイクルの柱です。「夢の原子炉」と宣伝された重大事故が起きても政府は強引に開発を進めてきたのです。▼政府の原子力関係閣僚会議が、もんじゅについては「廃炉を含め抜本的な見直しを行う」との方針を確認しました。もんじゅの廃炉が検討対象なら、プルトニウム循環を中心とした核燃料サイクル政策の破たんを意味します。世界から大量のプルトニウムを保有する日本に対する核兵器開発の疑念の目も強まっています。▼にもかかわらず閣僚会議は核燃料サイクルを推進する新計画も発表しました。内外に破たんを取り繕う姿でしかありません。

赤旗 日刊誌 3497円/月